



医療法人社団
志太記念脳神経外科

開頭クリッピング術、 カテーテル下コイル塞栓術に 精通した脳神経外科



病院長 豊山 弘之

とやま・ひろゆき ●1993年東海大学医学部卒業、同大学脳神経外科入局。2005年志太記念脳神経外科開院。日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医

脳卒中の治療・予防で 志太地域への貢献を

脳の中の動脈にこぶ状の膨らみができる脳動脈瘤は、破裂するとくも膜下出血を引き起こす。手術は破裂した場合だけでなく、破裂を予防するためにも重要な選択肢となっている。志太記念脳神経外科では、患者の特性に合わせ、脳動脈瘤の代表的な2つの治療を使い分けている。ひとつは、脳動脈瘤の頸部をクリップで閉鎖することで血液の流入を防ぐクリッピング術という治療。開頭手術を必要とするが、術中の万が一の出血の際には、血液を適切に取り除きながら手術を継続できるので、脳へのダメージを抑えやすい。もうひとつは、カテーテル下コイル

塞栓術といい、開頭することなく、血管を通じて極細のプラチナ製コイルを脳動脈瘤内に詰めることで血流を遮断するというもの。近年飛躍的な進歩を見せている「切らずに治せる」方法である。

この2つの治療を手がける豊山弘之院長が最も重視するのはリスクの回避だという。「手術はシンプルなものに正解だと考えます。複雑になれば、それだけ合併症などのリスクが増えるからです。また、少しでも不安があれば実績のある他の医師に相談し、患者様に負担をかけずに当院で治療を完結できるように努めています。長年この方法を続けてきた結果、ベテラン医師に鍛えられ、私自身の治療の幅も広がりました」

塞栓術と異なり、開頭することなく、血管を通じて極細のプラチナ製コイルを脳動脈瘤内に詰めることで血流を遮断するというもの。近年飛躍的な進歩を見せている「切らずに治せる」方法である。

同院では日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医、看護師、臨床検査技師、臨床工学技士などいつも同じメンバーで手術を行い、磨かれたチームワークによって「声をかけなくてもスピードが乗ってくる」という。また、機器についても最新のものを導入し、治療の精度を高めている。MRI、マルチスライスCT、ナビゲーションシステムのほか、クリップをかけたときに患者の手足が動ける状態にあるかをリアルタイムで確認できる運動誘発電位(MEP)モニターや、細かな血管の血流を映し出せる顕微鏡下術中ICG蛍光血管撮影装置といった術中の検査機器も充実している。

日本人の3大死因の1つである脳卒中の治療を完結できる施設として同院が開設されて8年。迅速な検査体制と、何より、「気軽に受診できる」「雰囲気づくりによって、地域における脳卒中リスクの低減に努めてきた。同院では志太地域へのさらなる貢献に向けて、免震設計された検査室、手術室の増築も予定している。災害時の拠点としての機能も拡充されるという。取材／斉藤雅幸



志太記念脳神経外科の広々とした廊下。院内は災害時に拠点となることを考慮して設計されている

免震設計された施設を増築予定の志太記念脳神経外科



【診療科目】脳神経外科、循環器内科
 【診療時間】
 月・水～金 9:00～12:00 / 15:30～17:30
 火・土 9:00～12:00
 【休診日】火午後・土午後・日・祝
 〒425-0073
 静岡県焼津市小柳津 371-1
 TEL.054-620-3717
<http://www.myclinic.ne.jp/shida/pc/>

日本人の3大死因の1つである脳卒中の治療を完結できる施設として同院が開設されて8年。迅速な検査体制と、何より、「気軽に受診できる」「雰囲気づくりによって、地域における脳卒中リスクの低減に努めてきた。同院では志太地域へのさらなる貢献に向けて、免震設計された検査室、手術室の増築も予定している。災害時の拠点としての機能も拡充されるという。取材／斉藤雅幸

医療法人社団

志太記念脳神経外科

手術数でわかる

地方別の 「いい病院」 ランキング

北陸・甲信越・中部編：新潟・富山・石川・福井・山梨・長野・静岡・岐阜・愛知

週刊朝日8月31日号